

ふ く い

## 校 訓

真実(まこと)をもとめ 身をきたえ ともにつとむる福井校  
 かしこく やさしく たくましく  
 ふるさと大好き福井っ子

## 春に向けて心と身体の準備を

数年に一度レベルの非常に強い寒気（気象庁発表）が流れ込んだ1月下旬は、今冬使用することがなかった雪かき道具をフル稼働させました。雪合戦、雪だるまづくり、そり遊びなど雪と戯れる遊びを楽しみにしていた子どもたちにとって、待ちに待った積雪でした。子どもたちは、登校後、中間休み、昼休みなど、グラウンドに出て雪遊びに興じていました。登下校の安全面や雪かきに費やす時間と労力を考えると、降雪・積雪の少なさは嬉しいような寂しいような複雑な気持ちでした。しかし、子どもたちの笑顔を見ると、この時期、降雪・積雪地域でしか行えない学習や活動に取り組み、工夫して遊ぶことの大切さを感じました。



大雪となった1月25日には、城北中学校で6年生対象の体験入学が行われました。先輩である生徒会からの具体的で丁寧な学校紹介、校長先生の入学に向けたお話などを聴きました。その後、仮学級に入り、中学校仮担任の指導の下で給食をいただいたり、数学科の先生による授業を受けたりしました。また、体験入学と並行して城北中学校区4小学校で学校の取組交流、ゲーム等を行い、親交も深めました。子どもたちの感想文から中学校への期待が大きく膨らんだことがうかがえました。

さあ、いよいよ2月。3日は節分、4日は二十四節季の立春を迎え、暦の上ではこの日から春ですが、まだまだ寒い日が続くことが予想されます。春に咲く草花は、寒い冬をじっと耐え、暖かい春が来たら一気に美しい花を咲かせます。寒い冬は、次に大きく伸びるためにあると言えるでしょう。この寒い時期に子どもたちに十分力を蓄えさせ、春に大きく開花できるよう教職員一同力を合わせて頑張る所存です。

12月1日に全国的な流行期に入ったインフルエンザですが、1月中旬の1週間（15～21日）の患者数が現在の調査方法となった1999年以降で最高になるなど全国的に大流行しています（厚生労働省発表）。1月25日には、京都府が今季初めて、府全域に過去10年間で最も早い「インフルエンザ警報」を発令しました。学校では手洗い、うがい（中間休みのお茶うがい）、マスクの着用、教室の換気等、予防に努めていますが、ご家庭におかれましても各機関が呼びかけている以下のような予防対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

▶外出後など手洗いを励行する。▶予防と咳エチケットを兼ねて外出時などはマスクを着用する。▶部屋の湿度を50～60%に保つ。▶過労と睡眠不足を避け、十分な栄養と休養をとる。▶ワクチンを接種する。

まだまだ寒風吹きすさぶ日も多いと思いますが、心も身体もリフレッシュしながら意欲的・積極的に学習に取り組みたいと思います。保護者、地域の皆様方もご自愛され、元気にお過ごしください。

校長 中西 一就  
 教職員 一同